

# 親子聖書日課

[日]「見失った羊」「無くした銀貨」の譬えは、共に失われた者を捜し求める神の愛と、見つけた時の神の喜びを示しています。私達は迷える羊、失われた銀貨、主にとっては、何よりも大切なものです。神の愛に応えて、すぐに悔い改めましょう。

[月]弟のように自分の罪を認め、神の前にへりくだる人は、神の愛を知り、救いの喜びを経験します。しかし、兄のように自分の義に頼り、人の悪を責め、神に不満を言う人は、救いの喜びはありません。兄のような人こそ、悔い改めが必要です。

[火]世の中の抜け目ない人は、人をもてなし、味方につけ、自分の地位を確保します。同様に、信仰者も霊的なもてなしをして、永遠の住まいに共に住む信仰の友を作るべきです。不正はいけません、「抜け目ないやり方」は身に着けましょう。

[水]御言葉はいつか聞けばよいと思ってはいけません。地獄に投げ込まれた金持ちは、主を信じなかったばかりにもだえ苦しみ、兄弟達もあとでは聞く耳をもたなかったのです。今日、御言葉を聞いたなら、「耳を傾けて」すぐに従いましょう。

[木]治った10人の内、感謝するために主の下に帰って来たのは、一人だけでした。救いの恵みを受けた後、感謝に満たされて、神の栄光のために生きる人は、今日も少ないのです。その一人になって、生涯、感謝の賛美と祈り、賜物を捧げましょう。



[金]ロトの妻は、安全な所へ逃げながら、主の戒めを破って、滅びゆくソドムの町を振り返ったため、塩の柱になりました。この世の持ち物に心が惹かれたのです。信仰は、この世のものに固守してはダメです。ただ主を見上げて、前進しましょう。

[土]祈りが応えられないと失望し、祈りを止める人はいませんか。「不正な裁判官」でも、熱心な祈りに心を動かされました。愛に富む神はそれ以上に、私達の熱心な祈りを聞かれます。どんな時も祈りを止めないで、祈禱会にも参加しましょう。

NO.1953 2026.3/1-7 名前

	聖書	問題	答え
日	ルカ 15:1-10	一人の罪人がどうすれば、神の天使達の間に喜びがありますか。	
月	15:11-32	父親は息子を見つけて憐れに思い、どのようにしましたか。	
火	16:1-13	主はこの不正な管理人の何をほめましたか。	
水	16:14-31	アブラハムと金持ちの間には、何があって渡ることができませんか。	
木	17:1-19	清くされた10人の内、神を賛美するために戻ってきたのは何人ですか	
金	17:20-37	誰のことを思い出すべきですか。	
土	18:1-17	イエスはどのように絶えず祈らなければならないと教えられましたか。	
感想と祈りの課題			